

1 if else 文 (条件判断) 48 頁

1.1 学習のポイント

ある条件によりプログラムの流れを変える制御文 if else 文を学びます。

1.2 if else 文とブロック

書式

```
if(式){  
    文 1;  
}else{  
    文 2;  
}
```

if else 文では () 内の式を評価し、もし式が真なら文 1 を、偽なら文 2 を実行します。式というのは、

```
c == 'm';
```

というような条件式を一般には意味し、この条件式を満たしたときに式の値が真であるといい、満たさなければ偽といいます。

文 1、文 2 が 1 つの文からなるときは{ }は省略できます。また、else 節に置く文がなければ else 節は省略できます。

文がいくつか集まった論理的なひとかたまりをブロック複文といい、C では{ }で囲みます。ブロックという概念があるために、if 文を構造的にスマートに書くことができます。C 言語 河西朝雄著 ナツメ社 48 頁

1.3 例題 6 reidai6.c 50 頁

入力した整数値が 0 以上なら「plus」、そうでないなら「minus」と表示しなさい。

```
/*
   入力した整数値が 0 以上なら「plus」、そうでないなら「minus」と表示しなさい。
   reidai6.c
*/

#include <stdio.h>

int main()
{
    int a;

    scanf("%d", &a);

    if(a >= 0){
        printf("plus\n");
    }else{
        printf("minus\n");
    }

    return 0;
}
```

1.4 練習問題 6 rensyu6.c 50 頁

2つの整数 a,b の中で大きい方を max に代入するプログラムを作りなさい。

```
/*
  2つの整数 a,b の中で大きい方を max に代入するプログラムを作りなさい。
  rensyu6.c
*/

#include <stdio.h>

int main()
{
  int a;
  int b;
  int max;

  scanf("%d %d", &a, &b);

  if(a >= b){
    max = a;
    printf("max = %d\n", max);
  }else{
    max = b;
    printf("max = %d\n", max);
  }

  return 0;
}
```